

教育
相談室

カウンセラーの窓から

話す力を育てるもの

ある小学校の、休み時間のことです。一年生のにぎやかな廊下の隅で、涙のあとも見取れる二人の男の子に、女の子が話しかけていました。

「A君がB君を先に押し込んだんですよ。だから、B君は怒ってましたよ。」
「うん」「じゃあ、そのことはまず、A君はB君にあやまらんとあかんでしょ」「うん」A君は素直にうなずいています。

もめていた子の気持ちを言い当てながら、諭すように話す女の子。その言葉に納得し、男の子たちはすっかり普段の顔になると、一緒に教室に戻って行ったのです。

先生に助け船を出してもらわなくても、子ども同士で仲直りができたことに、心がホッと温まる光景でした。

子どもたちの相談のトップは、何と言っても友人関係です。その多く

は何気ない言葉によって傷ついたり、傷つけてしまったりして、関係が悪くなってしまうという悩みです。

中学生のナナ（仮名）さんは、気の合う友だちが悪口を言われているのを聞いてしまい、「私も何か言われているのでは」と、友だちと話をすることが怖くなりました。加えて、友だちの味方になれなかった自分を責めるようになりませんでした。

やがて、学校を休みがちになり、担任の先生にすすめられて相談室にやってきました。

ナナさんに話を聴く前に、「折り紙を一緒にやりながら、「うまく、できたよ」と言葉をかけて心がほぐれるのを待ちました。

数回の面談で、好きな本の事や家族の事などを楽しく話しているうちに、クラスの子らとも、また以前のように会って話したい気持ちが出てきました。



話すことを避けていた子が、自分で考えて気持ちを表現できるようになるには、ちょっと逆戻り（退行）した感じで語りかける大人が必要なんです。

言葉についてさかのぼって考える時、子どもが一歳を過ぎた辺りから、「アーアー」というおしゃべりから、「わんわん」などの言葉に変わり始めた日のことを、覚えていられる方は多いことでしょう。

この頃から、親がタイミング良く、「ありがとう」と言いながらその頭をなでたり、「嬉しいね」と、一緒に喜び合ったりしてその時の感情（喜怒哀楽）を言葉で返してあげること、気持ちの表現力も育ち、伝えたい意欲につながっていくと言われます。

先の小学生の女の子は、きっとこんな言葉のやりとりを、普段からちゃんと見たり聞いたりして育ってきたのかもしれない。

子の成長に伴走しながら、周囲の大人も話す力を磨いて行くことの大切さを、相談を受けながら感じています。

(T.S)

「はくみ」は、家庭のあり方についてみなさんと一緒に考えていきたいと発刊しております。子育てのヒントになればと思います。ご意見をお聞かせください。

鯖江市教育委員会生涯学習課
TEL 5312256

ネットから子どもを守る10カ条!!

携帯電話、インターネットを安全に利用するため、次のことを守ります。

【子供たちへ】

1. 困ったときはすぐ相談する。
2. 使う時間を決める。
3. 使う場所を決める。
4. サイトに登録する場合は相談する。
5. お金がかかる場合は相談する。
6. 名前、顔写真、学校名は書き込まない。
7. 知らない人と連絡を取らない。

【保護者の方へ】

8. 暗証番号は保護者が管理する。
9. 月に一度、利用状況を確認する。
10. ルールを守らない時は、一時利用禁止にする。

鯖江市教育委員会、越前町教育委員会
鯖江警察署協議会、鯖江警察署

はくみ

家庭教育を考えるシリーズ

発行
鯖江市教育委員会
鯖江市社会教育委員会
青少年健全育成鯖江市民会議

協力
丹南青少年愛護センター鯖江支所

49号

人とのかかありが 子どもを育てる



小学生の作ったおもちゃに興味津々
(北中山小学校・北中山幼稚園)



吉川ふれあいまつり・かかしみこし(吉川小学校)



竹とんぼを作って飛ばそう(片上小学校)



力戦奮闘(東陽中学校)

言葉と心のチャッチボール

子どもは、

聞いてもらいたがうでいます



お父さん、こっち向いてほしいんだ!

お母さん、下手なボールでも受け止めてね!



子どものことが心配になると、お説教口調で一方向的に話をし、うるさがられる。そんなことを繰り返しがちな思春期のお子さんをお持ちの方へ。

もし、お子さんとの関係がぎくしゃくしてきたと感じていらつしやるなら、たまには、「よし、今日はとことん聞いてやろう」と心に余裕を持って、お子さんの言葉を「キャッチ」することから始めてみませんか。コミュニケーションはまず受け止めることからだといえます。

じっくりと聞きとつていっているうちに、お子さんの話の裏側に、口調の中に、メッセージを読み取ることができるようになります。子どもたちは、聞いてほしい、分かってほしいと願っているのですから、こちらもしっかりと受け止めてやりたいものです。

涓滴 心の復元力が子の幸せに

転んでも泣かない子がいます。じっと考えぬき、答えを見つけた子もいます。ひどいことを言われても、落ち込まない子もいます。耐えている子のさまざまな姿があります。時には、勉強がわからず、じっと身を固くして耐えている子もいます。苦しいことでしょう。

レジリエンスという言葉があります。「復元力」という意味があります。

本来、子どもの心には復元力があります。ストレスに強い子というのは、ぐっと耐える子というより、自分を見失わない子のことだと考えます。「怒っている、時間もともに落ち着いていく子」「わがからないことをどんどん質問できる子」などが、復元力の強い子だといえます。

復元力の強い子どもに育てるために、問題行動というマイナス面を見つけて叱るのではなく、子ども自身のよい面を探して伝えます。子ども自身の感情を自己コントロールできるように育てるのです。

「涓滴」とは「しずく」という意味。しずくも集まれば、やがて大河となることの願いを込めて。

そこで、周囲の大人の対応が問題になります。大人にゆとりがなく、感情のままに子どもを叱り飛ばすときがあります。大人自身が感情のコントロールをできないと、子どもも不安定になるでしょう。大人は望まないのに、大人と同じように感情のコントロールできない不安定な子になってしまう恐れがあります。

その他に、自己コントロール力を育てる方法を考えてみました。一つは、感情の言語化です。「腹の虫が暴れているのだね。」「○○だから怒っているのだね。」と、子どもの気持ちを理解した上で言葉にしてみます。感情の言語化を繰り返していくと、状況が見えるようになります。子どもも、自分の気持ちを言い表せると気持ちが落ち着くのです。

子どもたちに、感情をコントロールする方法を見つけてきたとき、子どもたちは本当に幸せになるのではないのでしょうか。

冬休み直前! ユーカル・キッズ講座参加者募集!

講座・イベント名	期日	時間	参加費	定員
①アート石けんづくり	12/19 (土)	14:00 ~ 16:00	子ども(中学生以下) 500円 ※保護者 1,000円	30名
②インディアカ親子体験スクール	12/19 (土)	19:00 ~ 20:00	200円 (親子同一料金)	30名
③一文字で伝える年賀状づくり	12/20 (日)	10:00 ~ 12:00	300円	25名

全イベントプレゼント付 (お子様のみ)

お問い合わせは、ユーカルさばえまで 鯖江市水落町 2-24-2 TEL.0778-52-5988